

令和元年度（平成31年度）学校教育自己診断

大阪府立桃谷高等学校 多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部

1 対象者

	生徒	保護者	教員
R01 (H31)	253/557 45.4 [%]	79/557 14.2 [%]	45/46 97.8 [%]
H30	51.0 [%]	19.4 [%]	72.7 [%]
H29	50.4 [%]	19.4 [%]	91.5 [%]
H28	39.8 [%]	20.1 [%]	100 [%]

2 実施時期 令和元年11月初旬～11月末（マークシートによるアンケート）

3 評価について

- (1) 回答項目の「よくあてはまる・「ややあてはまる」を肯定的と捉え、「あまりあてはまらない」・「まったくあてはまらない」を否定的と捉え数値化した。
- (2) 昨年度との比較を行い10ポイント以上の増減（++ --）10～5ポイントの増減（+ -）を記号化した。
- (3) 肯定率80%以上は赤、50%未満は青で網掛けとした。

4 アンケート結果

生徒

	診断項目	肯定率		H30	H29	H28
1	学校へ行くのが楽しい。(H29まで、桃谷高校に入学してよかった。)	53.1	-	60.6	86.7	86.0
2	この学校には、生徒のニーズにあった特色がある。	88.9		89.5	87.7	87.3
3	授業は、わかりやすく楽しい。	77.5	+	69.5	74.3	71.8
4	教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。	83.7	+	76.3	76.9	78.2
5	本校の授業は、あなたの期待に応えることができている。	76.8	+	70.9	74.0	70.1
6	ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う授業が多い。	74.7	++	64.0	60.1	52.7
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	48.2		46.4	40.4	37.1
8	学校生活についての先生の指導には納得できる。	82.2		79.9	80.1	74.5
9	先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる。	75.5	+	70.3	69.7	63.2
10	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	79.4		78.0	78.6	
11	生徒のことをよく理解している先生が多い。	80.6		76.9	76.8	73.8
12	文化祭や体育祭などの学校行事は、楽しく行えるよう工夫されている。	74.3		73.7	71.6	66.7
13	学校は、部活動にも参加しやすいよう工夫している。	69.8	+	64.4	62.8	51.6
14	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	72.2	++	60.8	64.4	49.8
15	将来の進路や生き方について考える機会がある。	84.2	+	77.7	79.9	70.6
16	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	84.6	+	78.6	74.8	69.2
17	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	85.0	+	77.0	71.9	71.4
18	人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	85.4	+	79.7	79.0	74.3
19	学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいか、具体的に知らされ	71.5		67.6	65.7	55.9
20	教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。	85.0		83.1	80.1	74.2
21	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	71.5	+	66.2	66.9	52.3

保護者

	診断項目	肯定率		H30	H29	H28
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。 (H29まで、桃谷高校に入学させてよかった。)	62.0		61.3	95.3	97.3
2	この学校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	93.7		98.1	95.3	97.3
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	72.7	+	65.1	79.0	69.0
4	学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。	69.6	--	80.0	75.2	74.1
5	学校の生徒指導の方針に共感できる。	87.2		89.4	86.7	86.6
6	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	88.6		90.5	97.1	90.3
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	80.8	--	92.2	92.2	
8	先生は子どものことを理解してくれている。	82.1		84.0	85.8	82.3
9	文化祭や体育祭等の学校行事は、生徒が楽しく参加できるよう工夫されている。	79.7		83.8	85.7	73.5
10	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	82.3		83.0	81.1	79.6
11	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	83.3		85.7	84.6	80.5
12	生徒指導面や進路面で、学校は家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。	72.7	-	80.0	76.2	77.0
13	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	91.0	+	82.9	78.3	79.6
14	学校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	87.2		85.7	86.7	87.6
15	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	83.5		84.6	89.6	79.6
16	地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	81.0	-	86.8	69.8	75.9
17	学校では、子どもに関する個人情報を守られている。	94.9		94.2	94.2	92.9
18	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。	81.0		82.7	81.0	74.3
19	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	65.8		68.3	68.6	74.3
20	この学校の授業参観や学校行事などに参加したことがある。	46.8		44.8	36.4	30.1
21	P T A活動には参加しやすい。	23.7	-	33.7	29.9	22.1

教員

	診断項目	肯定率		H30	H29	H28
1	生徒は、桃谷高校に入学してよかったと思っている。	86.7	-	93.8	88.1	89.6
2	この学校は、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	95.6		96.9	95.2	93.8
3	わかりやすく楽しい授業を心がけている。	100.0		96.9	97.6	95.8
4	学習指導を、個に応じた観点で工夫して行っている。	93.3		90.6	88.1	89.6
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	86.7		90.6	85.7	91.3
6	家庭連絡をきめ細かく行い生徒指導にいかしている。	75.0	+	68.8	83.3	80.9
7	生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。	82.2	++	68.8	76.2	68.8
8	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	84.4	++	71.9	76.2	81.3
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	80.0	+	71.9	76.2	72.9
10	学校として、生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫している。	57.8		59.4	54.8	47.9
11	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	86.7		84.4	76.2	81.3
12	「生きる力」を育み、自らの将来像を描くことができるように系統的なキャリア教育を行っている。	64.4		62.5	64.3	60.4
13	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	86.7		84.4	78.6	79.2
14	教育活動において、生徒に社会規範を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	68.9		71.9	61.9	68.1
15	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、職員間で話し合っている。	75.6	++	59.4	52.4	54.2
16	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	71.1	++	54.8	64.3	43.8
17	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	86.7	+	81.3	66.7	
18	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	80.0	++	68.8	61.9	77.1
19	この学校では、学習や活動がしやすいように施設や設備が整っている。	44.4	++	25.0	28.6	27.1
20	関連機関との連携を深め、教育活動全般に生かしている。	71.1		75.0	76.2	60.4
21	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	77.8	++	62.5	76.2	66.7
22	学校運営に教職員の意見が反映されている。	55.6	++	25.0	54.8	45.8
23	各分掌の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	80.0	++	56.3	78.6	50.0
24	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	51.1	++	40.6	52.4	39.6
25	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	77.8		78.1	81.0	68.8
26	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	86.8	++	64.5	73.8	72.9
27	全体として、初任者を育てる体制ができている。	73.7		74.2	73.8	
28	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	76.3		80.6		

5 考察

(1) 肯定率80%以上について

・肯定率80%以上の項目について、生徒アンケートでは昨年度の2項目から今年度9項目、教員アンケートでは昨年度9項目から今年度14項目と上昇しており、各教員の取り組みの成果が出ている。しかし、保護者アンケートでは昨年度16項目から13項目へと減少しているため、アンケート結果を精査し、改善していきたい。

・教員アンケートの「7 生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。」や「8 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。」、「18 生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。」、「23 各分掌の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。」、「26 校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。」は、それぞれ本校が重要と捉えて取り組んできた事柄であり、昨年度より10ポイント以上の増加かつ肯定率80%以上となったことをみると、教員全体にこの意識が広がり実践されているものと考えられる。

・生徒アンケートで5ポイント以上の増加かつ、肯定率80%以上の項目となった「4 教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。」や「15 将来の進路や生き方について考える機会がある。」、「16 進路についての情報をよく知らせてくれる。」、「17 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」、「18 人権の大切さについて学ぶ機会が多い。」については、生徒の育成について特に力を入れて取り組んできた事柄であり、生徒の肯定率が上昇し安堵している。今後も上記項目を意識した教育活動を行ないたい。

・保護者アンケートの「5 学校の生徒指導の方針に共感できる。」、「6 学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」、「8 先生は子どものことを理解してくれている。」、「10 子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。」、「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。」、「13 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」について、肯定率80%以上となった。これらの項目は学校経営計画においても目標値を設定するなど、丁寧に生徒の成長を支援するために設定された項目であり、その意が保護者にも伝わっていることが確認できた。ただ、肯定率80%以上となっているが、昨年より肯定率が下がっているものもあるので、今後とも教職員一同協力して取り組んでいきたい。

(2) 肯定率50%未満について

・肯定率50%未満となったものは生徒アンケートでは「7 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」の1項目、保護者アンケートでは「20 この学校の授業参観や学校行事などに参加したことがある。」、「21 PTA活動には参加しやすい。」の2項目、教員アンケートでは「19この学校では、学習や活動がしやすいように施設や設備が整っている。」の1項目であった。これらの項目は昨年度も肯定率50%以下であり、意識して取り組める部分もあったが、教員の努力だけでは改善できない部分もあり難しい項目である。ただ、ほとんどの項目で昨年度より肯定率が微増しているため来年度も継続して取り組んでいきたい。

・生徒アンケートの「7 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」は、本校生徒については中学や前籍の高校時代での背景を考えると苦手な分野ではある。しかし、文科省の示す「対話的で深い学び」に通じる所でもあり、無理ない範囲で、授業に取り入れる教員もおり、50%壁は破られてはいないが、改善しつつある。

・保護者アンケートの「20 この学校の授業参観や学校行事などに参加したことがある。」は、従来のお知らせプリントの他メールマガジンなどで参加の呼びかけを行っており、徐々に改善しつつある。

・保護者アンケートの「21 PTA活動には参加しやすい。」は、昨年度より10%ほど減少した。PTA役員会自体の活動も消極的になっており、これからの閉課程に向けて入学生も減少していくことを考えるとPTA活動を盛んに行うことは難しい。PTA役員以外の保護者にも参加してもらえるようにPTA活動の在り方について議論をしなければならない。

・教員アンケートの「19 施設や設備が整っている」は、予算の関係上すぐには実現できないものが多いが、事務室と通信、皿部との協力で3教室に天井吊り下げ型のプロジェクターを整備した効果であると推測している。今後も整備に努めたい。

(3) 共通する項目に関する比較について

	対象	番号	診断項目	生徒	保護者	教員
学校への意識	生徒	1	学校へ行くのが楽しい。(H29まで、桃谷高校に入学してよかった。)	53.1	62.0	86.7
	保護者	1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。(H29まで、桃谷高校に入学させてよかった。)			
	教員	1	生徒は、桃谷高校に入学してよかったと思っている。			
	生徒	2	この学校には、生徒のニーズにあった特色がある。	88.9	93.7	95.6
	保護者	2	この学校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。			
	教員	2	この学校は、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。			
学習指導	生徒	3	授業は、わかりやすく楽しい。	77.5	72.7	100.0
	保護者	3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。			
	教員	3	わかりやすく楽しい授業を心がけている。			
生徒指導	生徒	8	学校生活についての先生の指導には納得できる。	82.2	87.2	75.0
	保護者	5	学校の生徒指導の方針に共感できる。			
	教員	6	家庭連絡をきめ細かく行い生徒指導にいかしている。			
教育相談	生徒	14	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	72.2	82.3	86.7
	保護者	10	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。			
	教員	11	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。			
進路指導	生徒	16	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	84.6	83.3	86.7
	保護者	11	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。			
	教員	13	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。			
道徳教育	生徒	17	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	85.0	91.0	68.9
	保護者	13	学校は、子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。			
	教員	14	教育活動において、生徒に社会規範を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。			
人権教育	生徒	18	人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	85.4	87.2	75.6
	保護者	14	学校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。			
	教員	15	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、職員間で話し合っている。			

- ・学校への意識（その2）から「生徒や保護者のニーズに合致している」ことが分かる。進路指導や道徳教育の項目では、生徒・保護者・教員とも肯定率が高く評価してよいと考える。
- ・学校への意識（その1）は生徒・保護者と教員の回答がかけ離れている。次年度は「生徒は、学校へ来るのを楽しみにしている。」に変更するのが適切である。
- ・学校の一つの柱である学習指導では、教員側の心掛けていてもかかわらず、生徒・保護者とも実感するにはもう一声の感がある。生徒の個人差があるものの、全ての生徒が、分かりやすく楽しい感じる授業の実現をめざして研究、工夫しなければならない。
- ・生徒指導面は生徒・保護者の肯定率が高い。教員側が「家庭連絡を細かくおこない」が課題と考えている。連絡の取りにくい生徒が存在するため、教員にとり不十分だと自覚しているのではないかと推測している。
- ・教育相談について、生徒の肯定率が保護者・教員に比べて低い。しかし、生徒の肯定率80%に満たなかったが、前年度の60.8%の11.4ポイント増であった。今後も生徒情報を教員間で共有し、教員が気さくな声掛けが出来る学校づくりを心掛けたい。
- ・人権教育に関しては、生徒・保護者に比べて教員の肯定率が低い。教員同士が「職員間で話合える」よう、行事等の精選に取り組みたい。